

FUJITSU Security Solution
FENCE メール誤送信対策サービス
機能説明書

まえがき

- 本書の目的

本書は、「FENCE メール誤送信対策サービス」が提供する機能を説明したものです。

- 本書の読者

本書は、FENCE メール誤送信対策サービスの導入をご検討されているお客様の導入ご担当者様、エンドユーザ様を対象に FENCE メール誤送信対策サービスで何ができるのかを解説したものです。

- 本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

章	内容
第1章 機能概要	FENCE メール誤送信対策サービスの機能概要について説明しています。
第2章 機能詳細	FENCE メール誤送信対策サービスの機能詳細について説明しています。
第3章 動作環境	FENCE メール誤送信対策サービスを利用するために必要な動作環境について説明しています。

- 本書の読み方

FENCE メール誤送信対策サービスの概要を知りたい場合には第1章を、機能詳細を知りたい場合には第2章を、動作環境を知りたい場合には第3章を参照願います。

変更履歴

版数	日付	変更内容
第 1.0 版	2019/04/01	新規作成
第 1.1 版	2019/06/30	2.6 承認ログのダウンロードについて追記
第 1.2 版	2019/11/30	1.1 同一の送信元から大量メールを検知した際の条件を追記 1.2.5 CSV ファイルによる一括登録の Web API 利用について追記 2.3 キーワード制限のテンプレート利用について追記 変更履歴制限について追記 2.4 Skype for Business®連携について追記 2.5 CSV ファイルによる一括登録の Web API 利用について追記 第 3 章 商標について追記
第 1.3 版	2020/4/30	1.1 誤送信の事例を追記 1.2.1 OneDrive アップロードについて追記 1.2.2 送信メールのフィルタールールの条件を追記 1.2.5 組織内ドメインの管理を追記 2.1 以下の機能について追記 zip ファイルの zip 暗号 OneDrive アップロード 保留画面でのパスワード設定 受信者パスワード通知の保留 2.2 以下の機能について追記 初回送信宛先制限 送信者詐欺検知機能 2.5 組織内ドメインの設定方法について追記 「自動暗号化の設定」の画像を差し替え 「フィルタリングの設定」の画像を差し替え
第 1.4 版	2021/04/30	1.2.7 Azure® Active Directory®連携機能を追記 2.3 個人情報制限により表示できる情報について追記 2.5 代理承認者情報のアップロードについて追記 2.7 Azure® Active Directory®連携機能を追記 その他軽微な修正
第 1.5 版	2021/9/30	2.3 個人情報制限により表示できる情報について追記 2.5 「自動暗号化の設定」の画像を差し替え 「フィルタリングの設定」の画像を差し替え 商標に関する記述を更新

第 1.6 版	2022/2/28	1.2.5 二要素認証について追記 2.5 二要素認証について追記 商標に関する記述を更新
第 1.7 版	2022/3/31	V05L03 リリースに伴い各種画像を差し替え
第 1.8 版	2022/6/30	2.5 Fujitsu Cloud Direct(富士通サービス直販サイト)からお申込みの場合について追記 第 3 章 FENCE-Explorer の URL 情報を修正
第 1.9 版	2022/11/07	1.2.1 ファイルアップロード機能について表記を修正

● 商標について

- ・ Microsoft、Microsoft Edge、Skype for Business、OneDrive、Azure、Active Directory、Microsoft 365、Microsoft Authenticatorは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ マイナンバーは内閣府大臣官房会計課長の登録商標です。
- ・ Android、Google Chrome、Google Workspace、Google Authenticatorは、Google LLC の商標または登録商標です。
- ・ Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Garoonはサイボウズ株式会社の登録商標です。
- ・ JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

目次

第 1 章. 機能概要.....	1
1.1 FENCE メール誤送信対策サービスとは	1
1.2 FENCE メール誤送信対策サービスの機能概要.....	2
1.2.1 自動暗号化.....	2
1.2.2 フィルタリング	3
1.2.3 個人情報チェック.....	3
1.2.4 上長承認フロー.....	4
1.2.5 環境設定	4
1.2.6 ログ管理	5
1.2.7 Azure® Active Directory®連携機能.....	5
第 2 章. 機能詳細.....	6
2.1 自動暗号化.....	6
2.2 フィルタリング	10
2.3 個人情報チェック	12
2.4 上長承認フロー	14
2.5 環境設定.....	15
2.6 ログ管理.....	22
2.7 Azure® Active Directory®連携機能.....	24
第 3 章. 動作環境.....	25

第 1 章. 機能概要

本章では、FENCE メール誤送信対策サービスの機能概要について説明します。

1.1 FENCE メール誤送信対策サービスとは

FENCE メール誤送信対策サービスの概要を説明します。

■ FENCE メール誤送信対策システムとは

FENCE メール誤送信対策システムは、送信するメールから情報漏えいを防止するための機能を搭載したシステムです。

- ・ 添付するファイルの選択を間違えた
- ・ 添付ファイルに意図せぬ機密情報が入っていた
- ・ メールアドレスの入カミスや同姓の他人を選択してしまった
- ・ 添付ファイルを暗号するのを忘れてしまった
- ・ Bcc に入れるべきアドレスを To、Cc に設定してしまった
- ・ メールの送信先から機密情報が流出した
- ・ 送信先を詐称した悪意のある宛先にメールを返信してしまった

FENCE メール誤送信対策システムは、上記のようなメール誤送信の事例による情報の漏えいを防止するソリューションです。

■ FENCE メール誤送信対策サービスとは

FENCE メール誤送信対策サービスは、富士通のデータセンター内に構築した FENCE 誤送信対策システムの機能を「すぐに使える」「高機能なのに低価格」をコンセプトに提供しているサービスです。

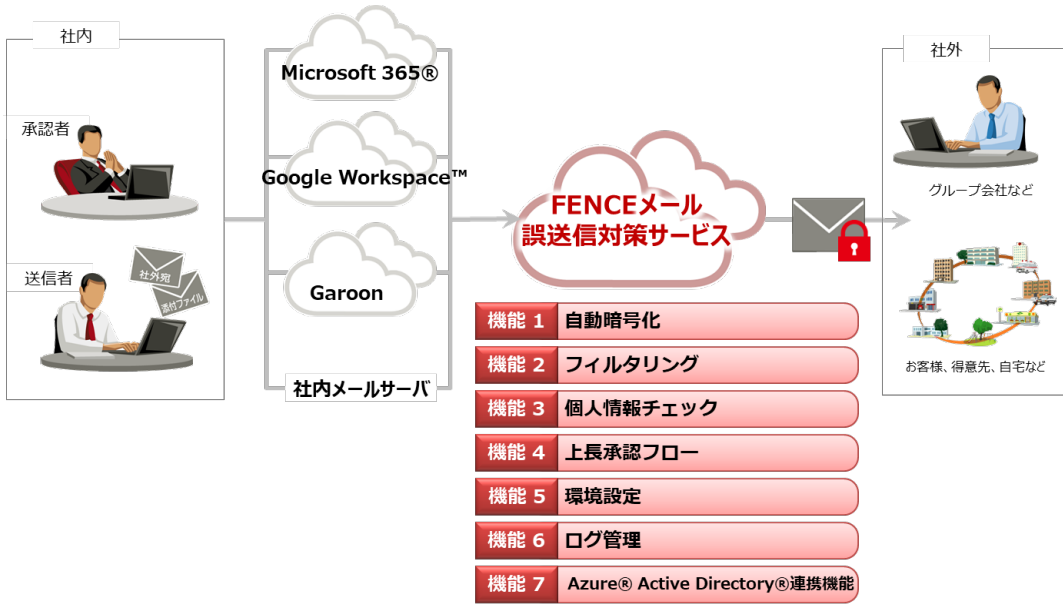
※ 本サービスは、メール誤送信を防止するための機能を提供します。提供する機能のポリシー設定、または運用(使用)方法がメールの誤送信を防止する条件となります。なお、すべてのメール誤送信の防止を保証するものではありません。

※ 同一の送信元から大量メールを検知した場合、メール流量の制限や配送経路の変更を行う場合があります。

1.2 FENCE メール誤送信対策サービスの機能概要

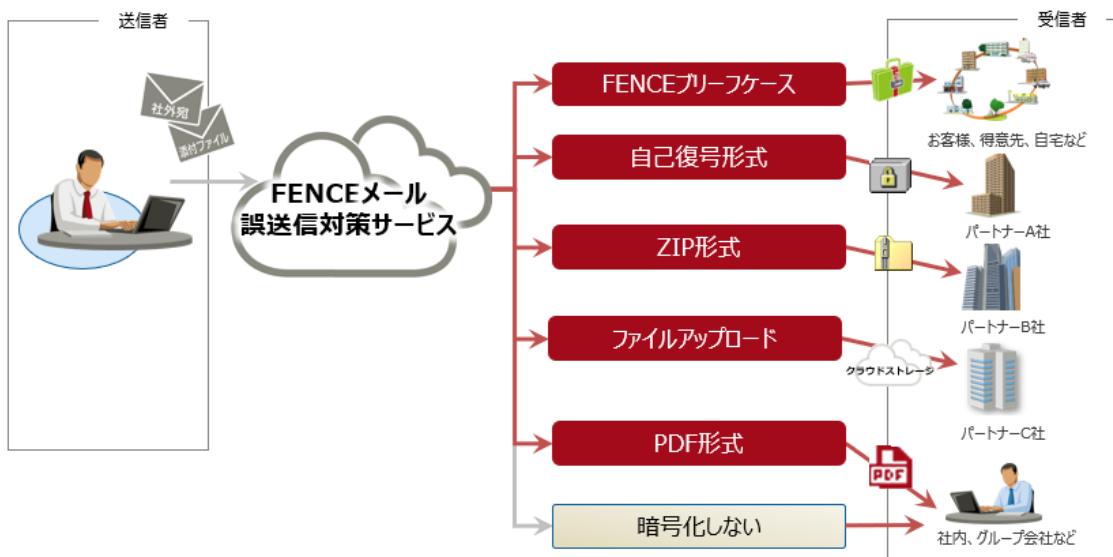
FENCE メール誤送信対策サービスの各機能の概要について説明します。

FENCE メール誤送信対策サービスは、下記の図に記載した7つの機能でメールの誤送信を防止します。



1.2.1 自動暗号化

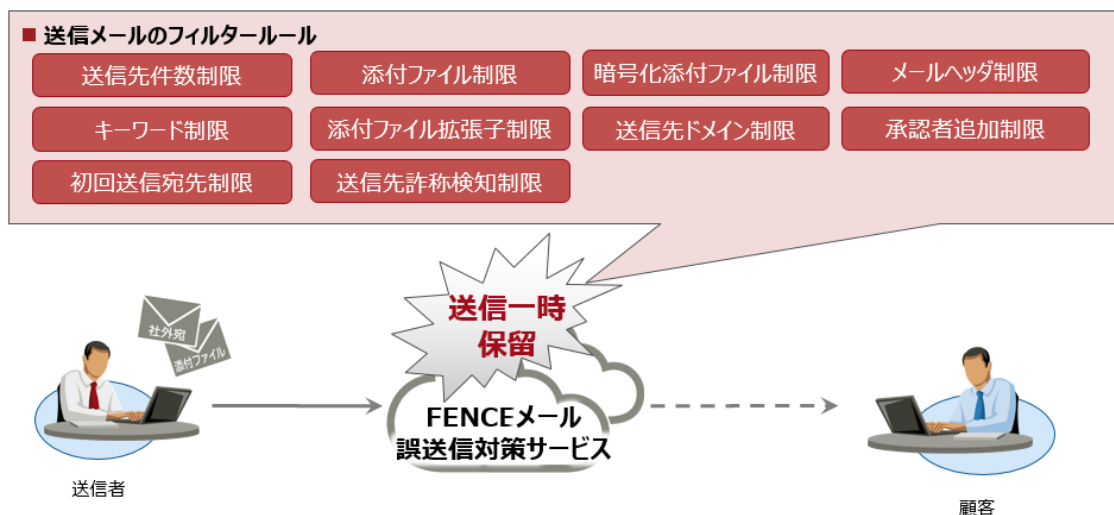
メールの受信者に合わせた暗号化形式で、メール本文や添付ファイルを自動暗号化することができます。



1.2.2 フィルタリング

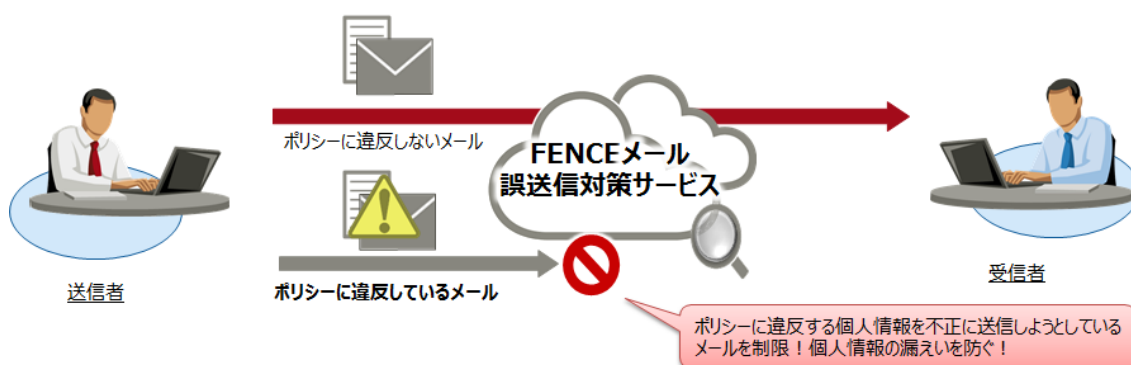
社内・顧客先などにメールを送信する際、送信先のドメインや送信先の件数などを制限する送信メールのフィルタールールにより、メールの送信を一時保留や中断することができます。

また、To、Cc の宛先を Bcc へ強制的に設定することが可能です。それにより、メールアドレスの流出を防ぐことができます。



1.2.3 個人情報チェック

送信メールのヘッダや本文、添付ファイルを対象に、個人情報や機密情報が含まれているかを自動でチェックします。それにより、誤操作や故意による情報流出を未然に防止できます。



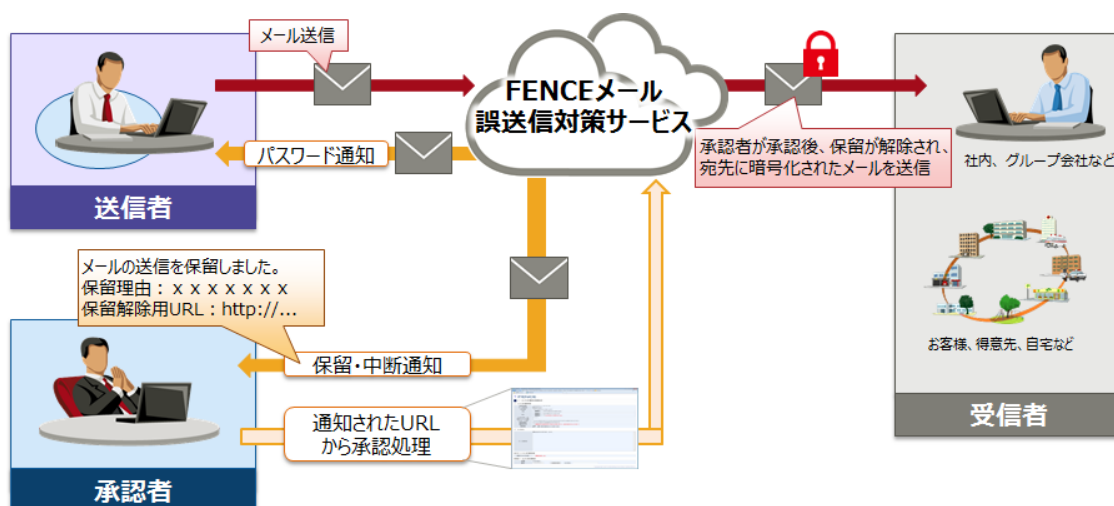
※ 本機能は、独自の方法により、メールのヘッダや本文、添付ファイルの中身をチェックし、個人情報を含む可能性のある送信メールを検出しますが、すべての個人情報の検出を保証するものではありません。

1.2.4 上長承認フロー

フィルタリングや個人情報チェックでポリシー違反した送信メールを一時保留し、承認者による判断により、メールの送信を承認／否認することができます。

承認者が承認した場合、暗号化されたメールが宛先に送信されます。

承認者が否認した場合、メールの送信が中断されます。



1.2.5 環境設定

■ユーザ情報の管理

利用するユーザ情報の追加や編集、削除を本サービスの管理コンソールで行うことができます。また、登録されているユーザ情報を一括してダウンロードすることも可能です。

管理コンソールを使用する以外の方法として、CSV ファイルによる一括設定を行うことができます。そのため、初期登録時や編集、削除時の作業が短時間で実現できます。

なお、CSV ファイルによる一括設定は、WebAPI 形式での利用も可能です。

■組織内ドメインの管理

保留メールの詳細情報確認画面に表示される宛先に対して、組織内ドメイン、組織名の追加や編集、削除を行うことができます。組織内ドメインは、本サービスの管理コンソールの操作により設定することができます。組織名は、CSV ファイルによる一括設定を行うことができます。

■運用ポリシーの管理

運用ポリシーとは、FENCE メール誤送信対策サービスを使用するための設定です。送信メールの誤送信対策として、メール本文や添付ファイルを含めた自動暗号化の設定、フィルタリングや個人情報チェックの設定を行います。

■二段階認証の管理

ログイン ID・パスワードに加えてワンタイムパスワードを必要とする二要素認証の設定、管理を行うことができます。

1.2.6 ログ管理

送信日時や送信先、添付ファイル数、本サービスの適用されたポリシー情報など、送信メールに関するログや承認者や承認者が添付ファイルを確認したかの情報、承認結果などの承認行為に関するログを取得し、監査の証跡として活用することが可能です。

1.2.7 Azure® Active Directory®連携機能

Azure® Active Directory®(以下、AzureAD)と連携することにより AzureAD に登録されているユーザやグループを、FENCE メール誤送信対策サービスに自動で登録することができます。

第 2 章. 機能詳細

本章では、FENCE メール誤送信対策サービスの機能詳細について説明します。

2.1 自動暗号化

自動暗号化の各機能を説明します。

メールの受信者に合わせた暗号化形式でメール本文や添付ファイルを自動で暗号化することができます。

■暗号化形式

送信するメール本文や添付ファイルを自動でパスワード付きの暗号ファイルにすることができます。特別なクライアントアプリケーションや公開鍵証明書を所有していない相手に対して、メール本文や添付ファイルをパスワード付き暗号ファイルとして安全に送信することができます。また、FENCE の独自のファイル形式「FENCE ブリーフケース」による暗号化が可能です。




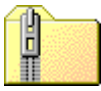
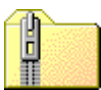


ファイルを復号(平文)することなく、参照や編集が可能となり、編集後は FENCE ブリーフケースへの格納を強制化できるため、暗号化を維持することが可能です。

有効期限の設定やパスワードの入力回数制限によるファイルの自動消去や FENCE ブリーフケース内のファイルを復号(平文)する操作(名前を付けて保存、印刷、PrintScreen、クリップボードへの保存)を制限することが可能です。



送信先のメールアドレス、メールのドメイン、件名でのキーワードなどにより、暗号化形式を指定することが可能です。

選択可能な暗号化形式は以下のとおりです。

形式	アイコン	暗号対象	説明
自己復号形式		添付ファイルのみ	実行形式の暗号ファイルです。
FENCE-Pro 手動暗号形式		添付ファイルのみ	FENCE シリーズ製品「FENCE-Pro」がインストールされ、同一の暗号鍵を保有している 相手のみ復号可能な暗号ファイルです。
FENCE ブリーフ ケース形式		本文・添付ファイル、 添付ファイルのみ	FENCE-Explorer、または FENCE-Pro V05 L04 以降がインストールされている環境でのみ復号が可能な暗号ファイルです。 有効期限による自動消去、印刷や PrintScreen などの情報を持出す行為の制限を設定できます。
ZIP 形式		添付ファイルのみ	パスワード付きの ZIP ファイルです。 ※パスワードなしの ZIP ファイルが添付された場合、ZIP ファイルを展開後、パスワード付きの ZIP ファイルとして暗号化します。
ZIP(AES 対応) 形式		添付ファイルのみ	パスワード付きの ZIP(AES 形式)ファイルです。
PDF 形式		本文・添付ファイル	パスワード付きの PDF ファイルです。 PDF のバージョンは 1.4 となります。
ファイルアップ ロード		非暗号	添付ファイルをクラウドストレージ上にアップロードします。

■パスワード生成方式

暗号化ファイルに対するパスワードの生成方式を指定することが可能です。

・ランダムパスワード

任意のパスワード生成ルールに従い、送信するメールごとにパスワードを生成します。メールごとに異なるパスワードが設定されるため、セキュリティ強度が高くなります。

ただし、メールを送信する度に、送信先にパスワードを伝達する必要があります。

本サービスでは、生成されたパスワードをメールの送信先に自動で送信することができます。

・固定パスワード

固定パスワードを設定することが可能です。

すべての送信メールに必ず同じパスワードが設定されるため、事前に送信先とパスワードを共有しておくことで、メール送信後にパスワードを伝達する手間が省けます。

同じパスワードを利用し続けるとパスワードの漏えいの危険性が高まるため、暗号化ファイルに対して、「有効期限」や「パスワードを一定期間で変更する」対策を行うことも可能です。

・時間単位パスワード

任意のパスワード生成ルールに従い、設定された時間間隔でパスワードを生成します。

パスワードは設定したパスワード生成ルール(使用する文字/長さ)に従って生成されます。

「ある一定期間で定期的に社内パスワードを変更する」場合の運用で活用できます。

※ 生成するパスワードの文字数の最小値と最大値の範囲指定(1~32)や、生成するパスワードに使用する文字の種類が指定できます。

文字の種類について、英小文字(abc..xyz) / 英大文字(ABC..XYZ) / 数字(0..9) / 記号(!"#\$%&()=^[@]*+;_¥?>.<,-^/`)'のそれぞれに対し、指定することが可能です。

・任意パスワード

保留したメールに限り、保留メールの詳細情報確認画面から任意のパスワードを設定することが可能です。ただし、保留メールの承認権限を持つユーザーに限り任意のパスワードを設定することが可能です。

※ 生成するパスワードの文字数や、文字の種類はシステム全体のポリシーに従う必要があります。

■ 添付ファイルの結合

複数の添付ファイルを暗号化する場合、ファイルを結合するか否かの指定が可能です。

- ・ **複数の添付ファイルを結合する。**: ファイルを結合して1つの暗号ファイルにする。
- ・ **複数の添付ファイルを結合しない。(単一パスワード)**:
ファイルを結合せず、すべて同じパスワードで暗号化する。
- ・ **複数の添付ファイルを結合しない(個別パスワード)**:
ファイルを結合せず、ランダムパスワードの場合にそれぞれ異なるパスワードで暗号化する。

■ パスワード通知方式(送信通知)

メールを暗号化した場合に送られる送信者パスワード通知メールの送信先を指定します。

- ・ **送信者に通知する**: 送信者にパスワードを通知します。
- ・ **指定したメールアドレスに通知する**:
指定したメールアドレスにパスワードを通知します。メールアドレスは 256 文字以内で指定します。

■ パスワード通知方式(受信通知)

メールを暗号化した場合に送られる受信者パスワード通知メールの送信先を指定します。

- ・ **受信者に通知する**: 受信者にパスワードを通知します。
- ・ **指定したメールアドレスに通知する**:
指定したメールアドレスにパスワードを通知します。メールアドレスは 256 文字以内で指定します。
- ・ **通知時間**:
パスワードを通知するまでの待機時間を 0~99999 の範囲で指定します。0 を指定した場合、即座にパスワードが通知され、送信を中断できませんのでご注意ください。
- ・ **パスワードを送信する**:
通知時間経過後に自動でパスワード通知を送信します。通知時間内であれば、ユーザが「短縮送信」と「手動中断」が行えます。
- ・ **パスワードを中断する**:
通知時間経過後に自動でパスワード通知の送信を中断します。通知時間内であれば、ユーザが「短縮送信」と「手動中断」が行えます。

2.2 フィルタリング

フィルタリングの各機能を説明します。

■送信先件数制限

送信メールに指定した宛先（メールヘッダの To、Cc）の件数が、ポリシー設定した件数以上に宛先が設定されている場合、メールの送信を制限（保留・中断）することが可能です。

Bcc に設定された宛先は件数としてカウントされません。

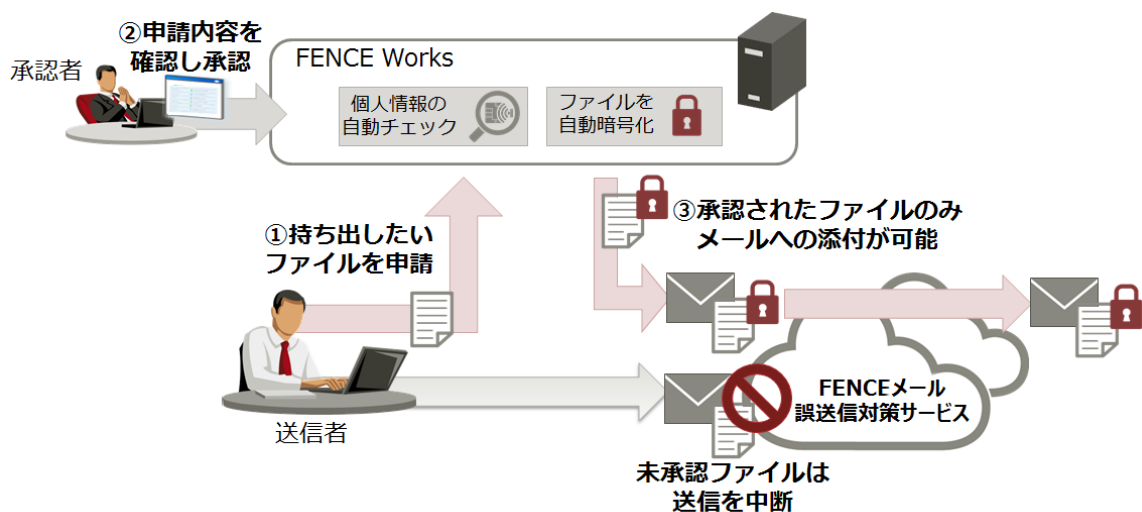
■添付ファイル制限

送信メールに添付ファイルがある場合、メールの送信を制限（保留・中断）することが可能です。

■暗号化添付ファイル制限

送信メールの添付ファイルが暗号化されている、または暗号化されていない場合、メールの送信を制限（保留・中断）することが可能です。

また、FENCE シリーズ製品「FENCE-Works」との連携により、上司に持出しを承認されたファイルのみ添付ファイルとして外部への送付を許可することも可能です。



第 2 章.機能詳細

■メールヘッダ制限

送信メールのメールヘッダにポリシー設定した情報が含まれている場合、または含まれていない場合に、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■キーワード制限

送信メールの件名、および添付ファイル名に、ポリシー設定したキーワードが含まれる場合に、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■添付ファイル拡張子制限

送信メールの添付ファイル名の拡張子がポリシー設定した拡張子と一致した場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■送信先ドメイン制限

送信先のドメイン名がポリシー設定したドメイン名を含む場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■承認者追加制限

送信メールに指定した宛先(メールヘッダの To、Cc、Bcc)に対し、ポリシー設定した承認者のメールアドレスが含まれていない場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■初回送信宛先制限

送信先に初めて送信する宛先が含まれる場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

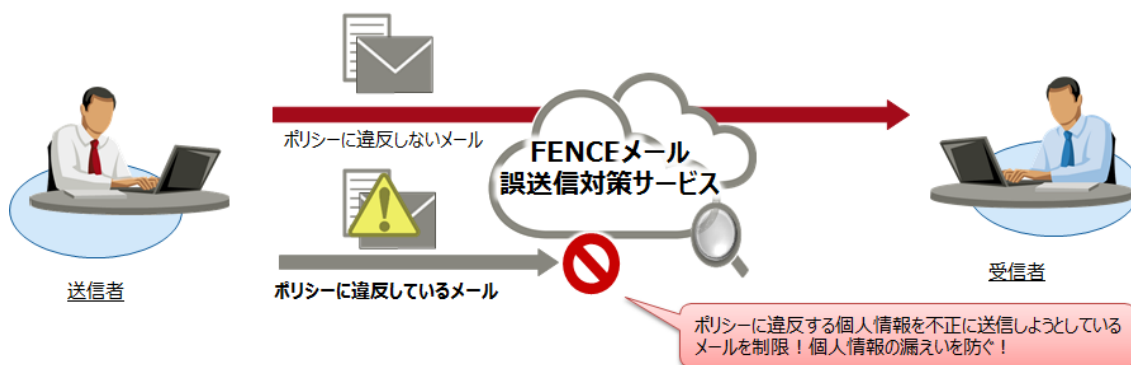
■送信先詐称検知制限

送信先ドメインに詐称の疑いがあるドメインが含まれる場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

2.3 個人情報チェック

個人情報チェックの各機能を説明します。

保留/中断を行う運用の場合に、該当した個人情報制限の詳細な情報(検知項目や検知件数)を表示することができます。



⚠ 個人情報チェック項目

- マイナンバー
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス
- 人名(名字と名前の組み合わせ)
- クレジットカード番号
- 特定のキーワード

■ マイナンバー制限

メールヘッダ、メール本文および添付ファイルにマイナンバー制度の個人番号または法人番号がポリシー設定した件数以上含まれる場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■ 人名制限

メールヘッダ、メール本文および添付ファイルに人名がポリシー設定した件数以上含まれる場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■ 住所制限

メールヘッダ、メール本文および添付ファイルに住所情報がポリシー設定した件数以上含まれる場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■ クレジットカード番号制限

メールヘッダ、メール本文および添付ファイルにクレジットカード番号情報がポリシー設定した件数以上含まれる場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

第 2 章.機能詳細

■電話連絡制限

メールヘッダ、メール本文および添付ファイルに電話番号情報がポリシー設定した件数以上含まれる場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■メールアドレス制限

メールヘッダ、メール本文および添付ファイルにメールアドレス情報がポリシー設定した件数以上含まれる場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■キーワード制限

メールヘッダ、メール本文および添付ファイルに特定のキーワード情報がポリシー設定した件数以上含まれる場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。
ビジネスメール詐欺を防止するテンプレートを利用することが可能です。

■解析不能ファイル制限

添付ファイルにパスワードが付いている(添付ファイルの解析に失敗した)場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

■変更履歴制限

添付の Word ファイルに変更履歴が残っている場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

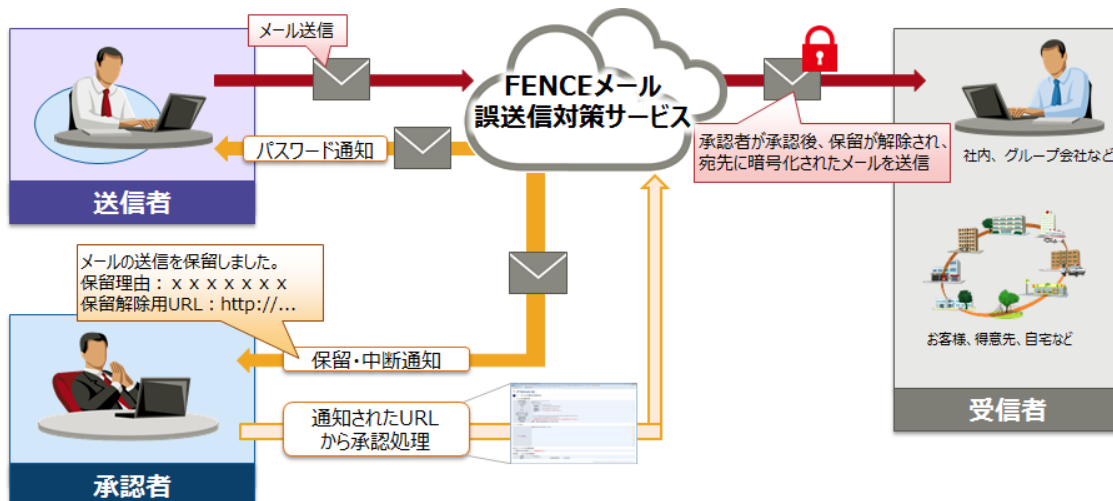
■Excel 非表示制限

添付の Excel ファイルのシートや行・列が非表示になっている場合、メールの送信を制限(保留・中断)することが可能です。

2.4 上長承認フロー

上長承認フローの各機能を説明します。

フィルタリングや個人情報チェックでポリシー違反と判断された送信メールを一時保留し、承認者による判断により、メールの送信を承認／否認することができます。



代理承認による承認や、送信者自らが承認を行う自己承認の設定も可能です。

承認した情報はログとして管理コンソールから参照することが可能です。

承認ログ情報のイメージ

承認ログの詳細情報確認	
メールの詳細情報	
送信日時	2022/03/23 11:00:43
メール件名	人名検知による保留
FROM	user01 <user01@fence.com>
Sender	
TO	user99@example.com
CC	
BCC	
メッセージID	<40f767e7-1ec1-3429-69a0-adc8061d6698@fence.com>
添付ファイル	人名 3 件.txt(未確認)
保留理由	メール監査オプションの制限条件に該当します。 ・人名制限に該当します。(検出数: 3 件)
承認情報	
承認日時	2022/03/23 11:01:07
フィルタールール名	保留・監査
承認者	ユーザ02 (承認者) <user02@fence.com>
承認結果	承認
中断理由	

2.5 環境設定

環境設定の各機能を説明します。

Web ブラウザから FENCE メール誤送信対策サービスの管理コンソールへアクセスし、「お客様登録票/作業申請書」で申請しましたログインIDとパスワードを入力し、ログイン後に環境設定を行います。

※ Fujitsu Cloud Direct(富士通サービス直販サイト)からお申込みの場合、トライアル申込時に申請したログイン ID とパスワードを入力してください。

■ ユーザ情報の設定

本サービスを利用するユーザ情報を作成できます。

ユーザ情報作成の他に情報の編集・削除・照会が可能です。

■ ユーザの追加

権限

有効	権限	コメント
<input checked="" type="radio"/>	一般ユーザ	自ユーザに関する以下の操作 詳細暗号化ルールの設定、暗号化ログの確認、承認ログの確認、保留メールの操作
<input type="radio"/>	ドメイン管理者	管理対象ドメインの管理

第 2 章.機能詳細

マルチドメイン管理設定(ドメイン管理者のみ)

<input checked="" type="radio"/> ドメイン	ドメインの紐付け (改行区切り) <input type="text"/>
<input type="radio"/> アカウント	ドメイン管理者との紐付け <input type="text"/>

グループ

[グループ追加](#)

所属	グループ名(表示名)	役職	承認者	代理承認者	暗号化ルール管理者
<input checked="" type="checkbox"/>	@fence-mail.bsc.fujitsu.com		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自ドメインの代理承認者管理設定 (ドメイン管理者のみ)

代理承認者	<input type="checkbox"/> 自ドメインの代理承認者設定禁止
<input type="button" value="設定"/>	

・ユーザ情報の一括設定

本サービスを利用するユーザの追加／編集／削除を、CSV ファイルを利用し、一括設定が可能です。

ユーザ情報の一括設定の他に、ユーザ情報のダウンロードも可能です。

CSV ファイルによるユーザ情報の一括設定およびダウンロードは、Web API での利用も可能です。

第 2 章.機能詳細

ユーザの一覧	
個別設定	一括設定
グループ情報設定ファイル(CSV形式)のアップロード	
ファイル	参照...
アップロード	
グループ情報設定ファイル(CSV形式)のダウンロード	
ダウンロード	
役職情報設定ファイル(CSV形式)のアップロード	
ファイル	参照...
アップロード	
役職情報設定ファイル(CSV形式)のダウンロード	
ダウンロード	
ユーザ情報設定ファイル(CSV形式)のアップロード	
ファイル	参照...
アップロード	
ユーザ情報設定ファイル(CSV形式)のダウンロード	
ダウンロード	
グループ所属情報設定ファイル(CSV形式)のアップロード	
ファイル	参照...
アップロード	
グループ所属情報設定ファイル(CSV形式)のダウンロード	
ダウンロード	
代理承認者情報設定ファイル(CSV形式)のアップロード	
ファイル	参照...
アップロード	
代理承認者情報設定ファイル(CSV形式)のダウンロード	
ダウンロード	

部署毎や任意のグループ毎に異なるフィルタリングや暗号化ポリシーを設定する場合、グループの設定を行い、グループと各ポリシーと紐づけることで、運用の効率化が実現できます。また、上長承認フロー機能を利用する場合、役職情報が必要となります。グループや役職情報、代理承認者の設定についても CSV ファイルを利用した一括設定とダウンロード、およびそれらの Web API での利用が可能です。

■組織内ドメインの管理

送信メールの誤送信対策として、組織内ドメインおよび組織名を設定します。これにより、送信先のメールアドレス(TO, CC, BCC)のドメインを識別して、保留メールの詳細情報確認画面に「そのドメインに対応付けられた組織名」、および「そのドメインが組織内/組織外であるか」を表示することができます。

・組織内ドメインの設定

送信メールアドレスのドメインに対して組織内として扱うドメインを設定することができます。

組織内ドメイン設定

・組織名の設定

送信メールアドレスのドメインに紐づく組織名称を設定することができます。
組織内/組織外のドメインを問わず設定することが可能です。
また、組織名情報のダウンロードも可能です。

■ポリシーの管理

送信メールの誤送信対策として、メール本文や添付ファイルを含めた自動暗号化の設定、フィルタリングや個人情報チェックのポリシーを設定します。

・自動暗号化の設定

パスワード生成方法や暗号化形式の指定など、メール本文や添付ファイルの暗号化に関する設定ができます。

フィルタールール管理

フィルタールールの設定
フィルタールールの確認

暗号化ルール管理

暗号化ルールを設定
暗号化ルールを確認

ユーザ管理

ユーザ情報の変更

送信メール管理

保留メールの確認
承認ログの確認
暗号化ログの確認
暗号化ログのダウンロード

システム管理

フィルタオプションの設定
暗号化オプションの設定
画面制御の設定
セキュリティオプションの設定
ユーザ情報の設定
グループ情報の設定
オンラインヘルプ
ナビサイト

詳細暗号化ルールを追加

暗号化ルール

暗号化ルール名

コメント

受信者

(複数メールアドレス・ドメインを指定する場合、改行区切り) (ヘルプ)

暗号化形式の設定

暗号化形式 FENCEブリーフェース形式(添付ファイルのみ) ▼

拡張子指定 fpbx

添付ファイル結合 複数の添付ファイルを結合する。 ▼

FENCEブリーフェース形式

有効期間 送信日を含む 0 日間有効とする (制限しない場合は0を入力)

格納ファイルの更新 許可する

パスワードの変更 許可する

格納ファイルの取り出し制限 格納ファイルの取り出しを制限する

パスワードの設定

パスワード指定

ランダムパスワード

時間単位/パスワード 時間間隔 1 ヶ月 ▼ごとに変更する

固定パスワード

パスワード

パスワードの再入力

変数を利用する (ヘルプ)

暗号鍵

鍵の名前

鍵の値

鍵の値再入力

パラメタファイル パラメタファイルを更新する

パスワードの生成方法 (ランダム/時間単位)

文字数 8 文字以上, 16 文字以内

文字種類 小文字(abc..xyz)
 大文字(ABC..XYZ)
 数字(0..9)
 記号 (!"#\$%&()*~|{[@]}*~+;_!?!><.-^/'")

パスワード入力回数制限 5 回まで再入力を許す (制限しない場合は0を入力)

パスワード通知方式

送信通知 送信者に通知する
 指定したメールアドレスに通知する

受信通知 受信者に通知する
 指定したメールアドレスに通知する

通知時間 10 分後

通知時間経過後にパスワード通知を送信する
 通知時間経過後にパスワード通知を放棄する

・フィルタリングの設定

「社外向けメール」、「添付ファイル付きメール」、「機密情報、個人情報関連の特定キーワードが含まれたメール」など送信メールを複数の条件からチェックし、誤送信時の情報流出リスクが高いメールの送信を制限することができます。

フィルタールール管理

フィルタールールの設定

フィルタールールの確認

暗号化ルール管理

暗号化ルールの設定

暗号化ルールの確認

ユーザ管理

ユーザ情報の変更

送信メール管理

保留メールの確認

承認ログの確認

暗号化ログの確認

暗号化ログのダウンロード

システム管理

フィルタオプションの設定

暗号化オプションの設定

画面制御の設定

セキュリティオプションの設定

ユーザ情報の設定

グループ情報の設定

オンラインヘルプ

ナビサイト

詳細フィルタールールの追加

フィルタールール

フィルタールール名	<input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>
送信者	<input checked="" type="radio"/> メールアドレス、ドメイン <input type="text" value="@fence-mail.bsc.fujitsu.com"/> (ヘルプ) <input type="radio"/> グループ <input type="text" value="@fence-mail"/>
適用期間	<input type="checkbox"/> 指定する <input checked="" type="checkbox"/> 開始 <input type="checkbox"/> 終了 適用期間の選択 <input type="text"/>
保留メール自動送信時間	<input type="text" value="0"/> 分後に保
保留メール保管期間	<input type="text" value="5"/> 日間、保
通知メール用コメント	<input type="text"/>
リレー先	<input type="checkbox"/> 設定する <input checked="" type="checkbox"/> サーバ <input type="checkbox"/> サーバポート
催促通知メール間隔	<input type="checkbox"/> 送信者向け <input type="checkbox"/> 承認者向け <input type="text" value=""/> 時間毎
ルール適用時の動作	<input checked="" type="radio"/> そのまま送信
BCC追加時の追加文字列	<input checked="" type="radio"/> 件名の先頭に追加 <input type="radio"/> 件名の文末に追加 件名: <input type="text"/>
強制BCC	<input type="checkbox"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> Toを空にする <input type="radio"/> Toを送信 <input type="radio"/> Toを受信
件名の先頭に追加文字列	<input type="checkbox"/> 件名の先頭に追加 文字列: <input type="text"/>
メール本文の無害化	<input checked="" type="radio"/> メール本文の無害化 <input type="radio"/> メール本文の無害化

基本制限の設定

送信先件数制限	<input type="checkbox"/> 利用する <input checked="" type="checkbox"/> 10 件以上の宛先(To,Cc)が指定されている場合、ルールを適用する。 (必ずルールを適用する場合は0を入力)
キーワード制限 (件名・添付ファイル名)	<input type="checkbox"/> 利用する 以下のキーワードが含まれる場合、ルールを適用する。(改行区切り) <input type="text"/>
添付ファイル制限	<input type="checkbox"/> 利用する <input checked="" type="checkbox"/> KBより大きい場合、ルールを適用する。
添付ファイル拡張子制限	<input type="checkbox"/> 利用する 以下の拡張子が付いた添付ファイルがある場合、ルールを適用する。(改行区切り、.を除外) <input type="text"/>
暗号化添付ファイル制限	<input checked="" type="radio"/> 利用しない。 <input type="radio"/> 添付ファイルが暗号化されている場合、ルールを適用する。 <input type="radio"/> 添付ファイルが暗号化されていない場合、ルールを適用する。 <input type="radio"/> 添付ファイルの証明ファイルが同梱されていない場合、ルールを適用する。
送信先ドメイン制限	<input checked="" type="radio"/> 利用しない。 <input type="radio"/> 送信先のメールアドレスが以下のドメインに1つでも含まれる場合、ルールを適用する。 <input type="radio"/> 送信先のメールアドレスが以下のドメインに全く含まれない場合、ルールを適用する。 ドメイン (改行区切り) <input type="text"/>
メールヘッダ制限	<input type="checkbox"/> メール本文のヘッダが以下のヘッダに1つでも含まれる場合、ルールを適用する。(改行区切り) <input type="text"/> <input type="checkbox"/> メール本文のヘッダが以下のヘッダに全く含まれない場合、ルールを適用する。(改行区切り) <input type="text"/>
承認者追加制限	<input type="checkbox"/> 宛先に承認者が含まれない場合、ルールを適用する。 <input type="checkbox"/> 承認者が複数いる場合、全ての承認者を含む必要がある。
初回送信宛先制限	<input type="checkbox"/> 初回送信の宛先が含まれる場合に、ルールを適用する。
送信先詐称検知制限	<input checked="" type="radio"/> 利用しない。 <input type="radio"/> 送信先に詐称の疑いがあるドメインが含まれている場合、ルールを適用する。 <input checked="" type="checkbox"/> 未登録ドメインを詐称検知対象に含める。
添付ファイル無害化制限	<input checked="" type="radio"/> 利用しない。 <input type="radio"/> 無害化を実施し、無害化成功時にルールを適用する。 <input type="radio"/> 無害化を実施し、無害化失敗時にルールを適用する。

第 2 章.機能詳細

■二要素認証の管理

ユーザがログインする時、二要素認証を必須とするか任意とするかを設定できます。

また、二要素認証を利用するユーザを限定することができます。

セキュリティオプションの設定	
接続元IP制限の利用	
接続元IP制限	<input checked="" type="radio"/> 利用しない <input type="radio"/> 以下のIPアドレスからの接続を許可（改行区切り） <small>(IPアドレス形式は、XXX.XXX.XXX.XXX/YY形式のみ指定)</small> <input type="checkbox"/> 一般ユーザにも設定を適用する
二要素認証の利用	
利用設定	<input checked="" type="radio"/> 利用しない <input type="radio"/> 任意設定にする <input type="radio"/> 必須にする
対象ユーザ	<input checked="" type="radio"/> ドメイン管理者のみ <input type="radio"/> 一般ユーザのみ <input type="radio"/> ドメイン管理者と一般ユーザ
<input type="button" value="設定"/>	

2.6 ログ管理

送信メールの情報、適用ポリシーの状況を管理コンソール上で確認できます。
送信日時やメールの件名、宛先、添付ファイル数、適用された暗号化の情報を確認することが可能です。

暗号化ログの詳細情報確認

メールの詳細情報

送信日時	2022/03/23 11:28:02
メール件名	人名検知による保留
FROM	user01 <user01@fence.com>
Sender	
TO	user99@example.com
CC	
BCC	
添付ファイル数	1
メッセージID	<248d6452-afa5-d39e-4cf3-096b4512d0a3@fence.com>

適用された暗号化ルール

暗号化ルール名	社外メール	
受信者	user99@example.com	
送信通知先アドレス	user01@fence.com	
暗号化前の添付ファイル名	暗号化後の添付ファイル名	暗号化パスワード
人名 3 件.txt	人名 3 件.zip	tMWM^ihN#f

暗号化ログ情報は、CSV ファイルとしてダウンロードが可能です。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
メールID	送信時間	件名	メッセージID	メッセージID(変更後)	送信者	受信者 (代表)	FROM	TO	CC	BCC	メールヘッダに含まれるメールアドレスリスト	RESENT-FROM	RESENT-TO
560	2018/12/10 18:21	test	<20181210074023.E878D10BF525@l	test02@user01@example.com	test02@user01@example.com	<test02@user01@example.c	user01@example.com				user01@example.com		
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y			
受信者メールアドレスリスト	メールデータのサイズ	監査BCC	暗号化ルール名	暗号化形式	暗号化パスワードの種類	受信者メールアドレス(暗号化)	暗号化前の添付ファイル名	暗号化後の添付ファイル名	暗号化パスワード				
user01@example.com	416704		社外メール	ZIP形式(添)	ランダムパスワード	user01@example.com	300KB.xlsx	300KB.xlsx.zip	i3i~bTazbe				

第 2 章.機能詳細

また、フィルタリングや個人情報チェックにより、保留されたメールに対する承認ログを確認することも可能です。

送信日時やメールの件名、宛先、添付ファイル数を確認することが可能です。また、保留された理由、承認日時や承認者、承認結果を確認することができます。

承認ログの詳細情報確認

メールの詳細情報

送信日時	2022/03/23 11:00:43
メール件名	人名検知による保留
FROM	user01 <user01@fence.com>
Sender	
TO	user99@example.com
CC	
BCC	
メッセージID	<40f767e7-1ec1-3429-69a0-adc8061d6698@fence.com>
添付ファイル	人名 3 件.txt(未確認)
保留理由	メール監査オプションの制限条件に該当します。 ・人名制限に該当します。(検出数: 3 件)

承認情報

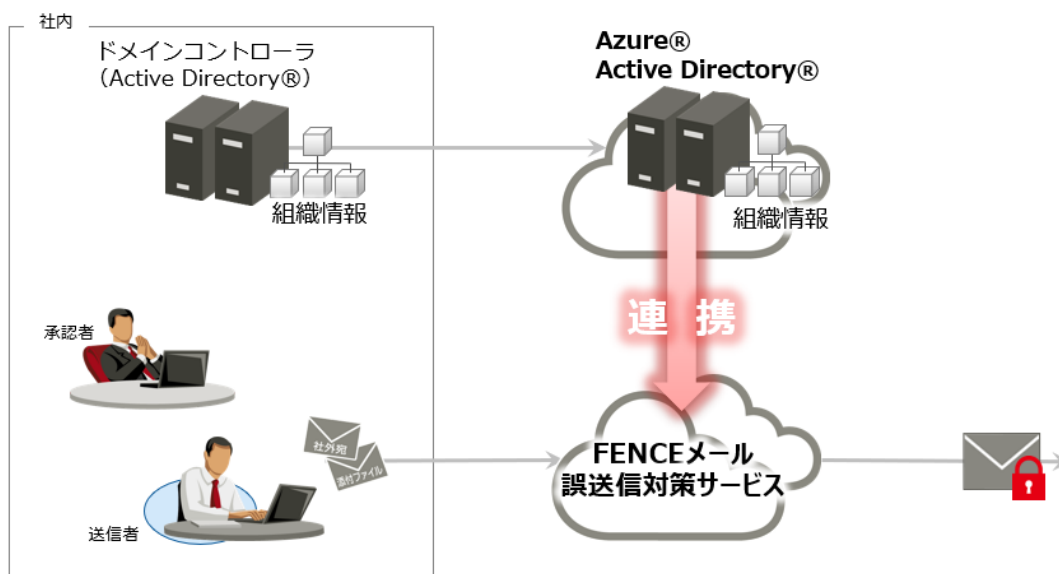
承認日時	2022/03/23 11:01:07
フィルタルール名	保留・監査
承認者	ユーザ02 (承認者) <user02@fence.com>
承認結果	承認
中断理由	

承認ログ情報は、CSV ファイルとしてダウンロードが可能です。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	
内部コード	メール送信	メール件名	メッセージ	送信者メ	代理送信者	承認時間	承認者	承認者名	承認結果	中断理由	内部コード	ヘッダFrom	ヘッダTo	ヘッダCc	ヘッダBcc	ヘッダRe	
342	#####	Sample M	<a9d9f3e	fence@ssp	fence.con	#####	@ssp.fenc	ドメイン	管	1		378	fence	<fer	user01@e	user02@e	user03@external.co

2.7 Azure® Active Directory®連携機能

Azure® Active Directory®(以下、AzureAD)と連携することにより AzureAD に登録されているユーザやグループを、FENCE メール誤送信対策サービスに自動で登録することができます。新入社員や退職者など、人事異動にもシームレスな対応が可能です。

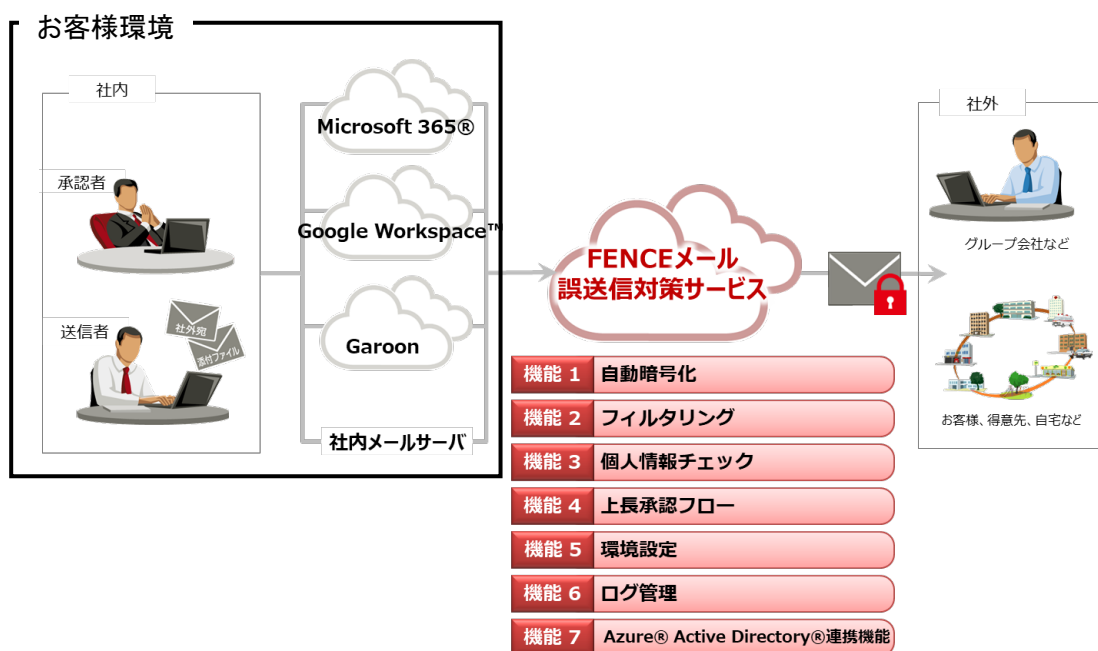


第3章. 動作環境

本章では、FENCE メール誤送信対策サービスの動作環境について説明します。

■利用環境について

お客様のメールの推奨環境は Microsoft 365、Google Workspace、Garoon、社内メールサーバとなります。



- Web ブラウザで設定を行う場合、JavaScript® を有効にする必要があります。
- 動作確認済み Web ブラウザ
 - Microsoft Edge® 42
 - FireFox®
 - Google Chrome™FireFox®のバージョンについてはお問い合わせください。
- FENCE メール誤送信対策サービスからのメール配送先にて、メール流量の制限をしている場合、メールの配送に失敗する場合があります。事前に FENCE メール誤送信対策サービスの IP アドレスをホワイトリストに登録する、メールの流量に合わせた流量制限を設定するなどの対応をする必要があります。

■ FENCE ブリーフケース形式ファイルの編集や参照について

FENCE ブリーフケース形式のファイルに対して、編集や参照を行う際には、専用ツール「FENCE-Explorer」(無償)が必要となります。

FENCE-Explorer の使用条件や注意事項については以下ダウンロードサイトを参照してください。

- ・ Windows ®版

<https://www.bsc.fujitsu.com/product/fence/explorer-for-windows.html>

